

○ 3万3,000人が燃えた
○ ふるさと都留

映画

がだした税金でまかなわれていました。私の父にとって、国に支払わなければならない税金は、けつして楽なものではありません。新聞に、予算の使い方に問題があったなどという記事が書かれていると、父は顔をしかめながらその記事に見入ります。でも、一方で税を収めることに、国民としての義務をはたしている誇らしさを感じているようです。私の今の生活、恵まれ、幸せな生活。でも社会には、恵ま

れない生活をしている人たちがたくさんいます。病气やけがに苦しむ人、一人暮らしのさびしい老人、心身の障害になやむ人、学校でのいじめや、受験問題、離婚の増加や非行問題。私たち日本人が幸せになるために、解決しなければならぬ問題がまだまだたくさんあるのです。また、世界に目をうつすと、飢えや、伝染病、戦争などに苦しむ人々が数限りなくいるのです。そんな人々を不幸にしたまま、

私たちがだけで、本当の幸福になれるのでしょうか。飢えた子どもたちのじつと遠くをみつめるような瞳。一人暮らしの老人が、うすぐらい部屋でさびしい夕げをとる後ろ姿、そんな姿をテレビや、写真で見るとは、私の幸福のありがたさをつくづく感じるとともに、本当に私は幸福なのかと考へてこますにはいられませんでした。すべての人々が幸福に、すべての人々が幸せに、そんな願いが、税金には、

こめられているのです。ですから、私は、政治にかかわる人たちだけでなく、すべての国民が、税の使途や、税にかかわるさまざまなことに関心を持ち、よりよい納税者になるべきだと思うのです。そしてそのことが、私たちの幸福な暮らしを永続させることになると思います。幸せですか。そんな問いかけをもう一度思い出してください。そして、みんな、税金の大切さを自覚しましょう。それが、幸福

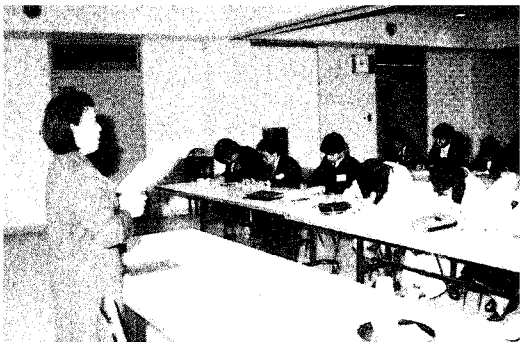
への近道なのだから……

■ おわびと訂正 ■

広報つる二月号に掲載してありました「ご自分の資産を確認しましょう」の文中で「昭和六十一年度の価格」は「昭和六十二年の価格」の誤りでありました。ここにお詫びと訂正を致します。

市では、昨年行われたかいじ国体の都留市の模様を、記録映画として制作いたしました。この映画は、十六ミリのカラー映像で、タイトルは「三万三千人が燃えた・かいじ国体都留市の記録」。上映時間は二十分、選手と市民の皆さんのふれあいを中心に編集してあります。また、「ふるさと都留」と題して、市の産業や風俗、習慣を四季を通して三十分編集した映画を現在制作しており、三月中旬に完成する予定です。完成した映画は、市や地域の催しに上映するほか、ビデオテープにダビングして市民のみなさんにお分けする予定です。くわしくは四月号の広報でお知らせします。

エネルギーな行動力ある人材を



▲新入社員研修

新入社員研修

この研修は、激動する企業社会へ適応する社員となるために必要な基礎知識、規律、

礼儀などを習得させ、企業に貢献できる人材を養成するためのものです。

各事業所において、昭和六十二年採用の新入社員が、ありましたら多数ご参加下さい。

講師 (株)日本秘書協会常任理事 土屋治子先生

期 日 四月六日(月)～八日(水)

会 場 市役所大会議室

対 象 六十二年採用社員

定 員 三〇名

締切日 四月三日(金)

参加費 一、五〇〇円

申込先 都留市商工会

☎(43)1570